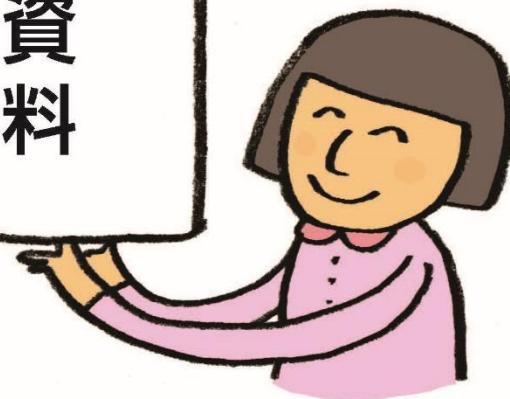


in お台場

# 「全国大会」当日資料

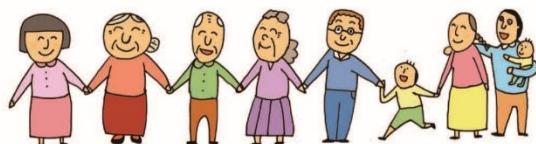
全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会



■日 時：2024年12月13日（金）

■会 場：TFTビル 研修室906

〒135-0063 東京都江東区有明3-11-1TEL：03-5530-1111（代表）



## プログラム・目 次

◆12月13日（金）

頁

13:00～13:15 開会

13:15～14:15 実践報告リレー「小規模多機能の実践」

2

小規模多機能型居宅介護つぐみ下島（静岡県）西島 知子

あんず庵（鹿児島県）松下 和代

株式会社ライズリング（北海道）渡邊 譲

（共生型看護小規模多機能ホームあんずの華）

進行 後藤 裕基（全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会）

14:15～15:30 自治体担当者が考えていること

28

中村肇 × 住田篤 × 山越孝浩

（川崎市）（福岡市）（全国連絡会）

15:45～17:30 実践者の葛藤「いま現場は何を考え、もがいているか」

42

登壇者 長澤 正憲（社会福祉法人美瑛慈光会：北海道）

松田 宇善（コンフォートライフ合同会社：岩手県）

浅井いづみ（なかもちの家：富山県）

進行 黒岩 尚文（全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会）

17:30～17:50 総 括

宮島 渡（全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会）

17:50～18:30 地域連絡会の一言メッセージと一般社団法人への移行説明

19:00～21:00 懇親会（PRONTO ワンザ有明店：同会場2階／希望者のみ）

※敬称略

■主 催：全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会

■日 時：2024年12月13日（金）13:00～18:30まで

■会 場：TFTビル 研修室906（ゆりかもめ東京ビッグサイト駅徒歩1分）

■参加費：会員7,000円 非会員10,000円 自治体7,000円

※会員とは「全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会」の会員となります。

※本大会の申込みと同時に、ご入会いただくと会員価格となります。

※参加費は当日会場でお支払いください。

■交流会について

会費：6,000円（定員70名・先着順）

■参加申込（Google フォーム）

<https://docs.google.com/forms/d/1J57MWk4hjDLgYITKrBB4jcUy-sUQccalMkncmCY5CQ0/edit>

■問い合わせ先

全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会

〒105-0013 東京都港区浜松町1-19-9 井口ビル3階

TEL03-6430-7916 FAX03-6430-7918

<http://www.shoukibo.net/> E-mail info@shoukibo.net

13:15～14:15  
実践報告リレー

## 「小規模多機能の実践」

◆報告者

小規模多機能型居宅介護つぐみ下島（静岡県） 西島 知子 氏

あんず庵（鹿児島県） 松下 和代 氏

株式会社ライズリング（共生型看護小規模多機能ホームあんずの華／北海道） 渡邊 謙 氏

◆進行

後藤 裕基（全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会）

【MEMO】

# 好きなビールを飲んで 自分らしく生活したい！



(株)ファミーユ つぐみ下島  
西島 知子



マグロ

## 静岡市の街

富士山



久能山  
東照宮



黒はんぺん



桜エビ



駿河湾



しらす



# 株式会社ファミユ

## つぐみグループ紹介



- ①本社
- ②小規模多機能型居宅介護（八坂・押切・下島・新伝馬）  
ご利用者29名（八坂ご利用者25名）
- ③グループホーム（八坂・押切・下島）  
ご利用者9名
- ④住宅型有料老人ホーム（新伝馬）  
ご利用者20名

### 法人理念

お客様御一人御一人の想いを  
毎日の暮らしの中でどう反映できるか、  
職員一人一人が考え、行動します



A子様 80歳 女性

要介護2 独居 既往歴：認知症、高血圧

北海道出身 高校を中退して東京へ上京（17歳）

最初の夫と知り合い、22歳で結婚。2人の子供に恵まれる。

次女が3歳頃、夫の浮気により離婚。その後は女手一つで

2人の娘を育てるために朝から晩まで休みなく働く毎日。しかし東京での生活は苦しく、その後静岡市へ引っ越してくる。静岡駅近くのおでん屋さんを任せられ店を切り盛りする。その時に銀行員の男性と知り合い再婚。

現在の家を建て家族4人で暮らしていた。



今から20年ほど前にその夫が病気で他界する。  
その頃から、A子様はビールを毎日飲むようになった。  
体調を崩し、その5年後に店を畳み自宅で昼間からお酒を飲むことも増えた。  
長女は結婚し、市外で暮らしている。次女も3年前に自宅を出て1人暮らしをしている。  
それからの数年間は、介護保険も使わずなんとか独居生活ができていたが、  
今年に入り、認知症が進行し、見当識障害や実行機能障害などの症状、  
妄想、幻覚なども見られるようになった。

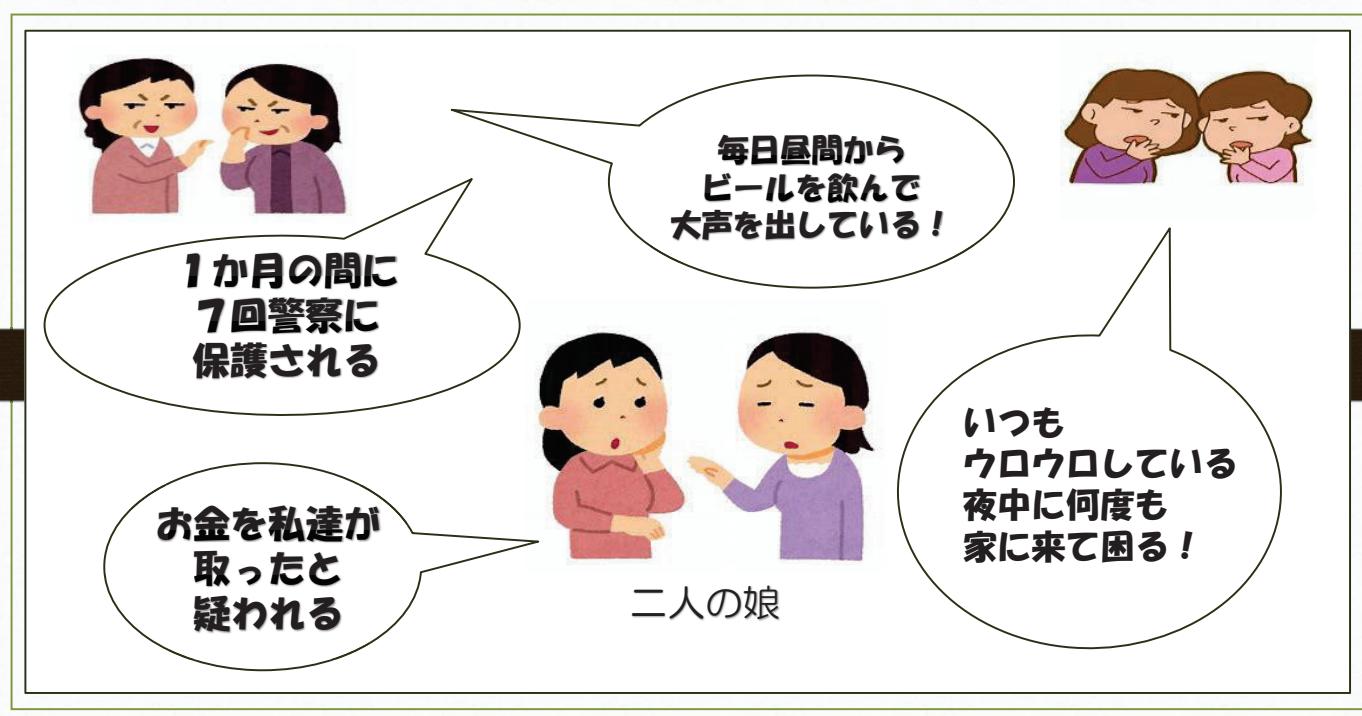


今年6月のある日の真夜中、  
離れて暮らしている  
市外の長女の家に1本の電話が入る



A子さんのご家族ですね。  
御前崎で保護したので  
今すぐ  
迎えに来てください！





「なんとかしてほしい！」  
「遠いところに行ってもう帰ってこないでほしい！」  
「どこか施設に入所してほしい！」

ご家族の負担は限界に来ていた。。。。



最初は、職員が通いサービスに誘っても警戒し、  
「用があるから行かないよ！」  
「そんなところに行きたくないよ！」



訪問に切り替え、職員とコミュニケーションとることを優先する。  
その会話の中でA子様が、

「買い物に行きたいけど、暑いし場所がわからなくなることが  
あるんだよ…」



「これだ！！」



### 職員のカンファレンスで話し合い



#### ★買い物の同行について

- ・方法（曜日・時間帯）⇒1日置きだとご本人がわかりやすい
- ・誘い方⇒ビールとおつまみを買いに行きましょうか
- ・購入したものを共有⇒訪問帳にレシートを貼る
- ・調理する力、火の始末確認、衛生面の確認⇒調理の様子を記録、共有
- ・ゴミ出しについて⇒ゴミ出しの前日に声かけする、メモを置いてくる
- ・その他、冷蔵庫内の期限切れ確認や栄養面の配慮 等



### ●● A子さん 80歳

ビールを買いに来たら、  
ノンアルコールビールを勧めてください！

#### 特徴：

- ★シルバーカー（紺）を押して歩いて来ることが多いです。
- ★赤や黒い服が多いです。
- ★アサヒスーパードライ 500ml の6缶セットをよく購入します。
- ★〇〇付近に住んでいます。

お問い合わせ：つぐみ下美 田口 064-216-1180

スーパーや薬局の  
店員さんに協力を依頼！



イケメンの  
店長さん

## ★地域の方の協力★

近所の方の協力

ゴミの日を  
伝えてもらう



郵便局員さん  
銀行員さんの協力



娘さんに連絡する  
よう声かけしてもらう

主治医の協力

定期受診以外にも  
健康相談に乗ってもらう



最近は、夜に外出することや警察に保護されることも少なくなり、近所の方も少しづつ理解くださるようになりました。

ご家族も一安心した様子で、



**「もう少し自宅で頑張ってみます！」**

と、ご家族からケアマネージャーにありがたいお言葉を  
いただきました！



ご本人の自宅で自分らしく生活したい気持ち

+

ご家族の不安や負担を取り除く



**ご本人の暮らしやすい環境と、  
ご家族が安心して任せられる環境を整え、ケアにあたることが、**

**小規模多機能の使命である！！**



# 「食」が繋げてくれた ～介護事業所と地域・ 子ども・高校生～

NPO法人あんずカフェ  
小規模多機能あんず庵 松下和代

## 小規模多機能 あんず庵

- 人口12万人
- 17カ所目の小規模多機能居宅介護
- 令和2年11月開設



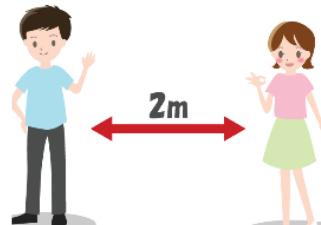


## 開設と感染症



感染予防のためマスク着用

- ・顔が見えない



ソーシャルディスタンス

- ・地域の行事も中止される



3密

- ・運営推進会議も時短または書面開催

## 食育～食べることは学ぶこと～

- ・子どもたちも体験の機会が減少
- ・夏休み子ども企画 おひさまクッキングを開催（令和4年）



## 食提事業～近隣の子どもから高齢者まで食事を提供～

- ・令和5年3月子ども食堂を始める
- ・毎月1回第4日曜日に開催



コロナウイルス感染症が流行している学校もまだあることから、交流スペースでお弁当を配布する形式で始める。  
対象は子どもから高齢者まで  
18歳未満と75歳以上は無料、大人は300円頂く。

# 毎月開催するうえで

1

食べられない子どもに届けたいが、  
気兼ねなく弁当を取りに来れるよ  
うに制限は設けない。

2

毎回のメニュー作りはどんなお弁  
当が喜んでもらえるか職員で話し  
合う。  
子どもたちはどう思っているの  
か？

3

食数が徐々に増えてきてボラン  
ティアさんなしでの準備は難しい。  
大人のボランティアさんは毎回の  
参加は出来ない。  
ボランティアさんの確保に時間が  
かかる。

## ボランティアさ んを確保するた めに

国分高校の先生にチラシを渡  
し校内に掲示して頂く。



# 子ども食堂

NPO法人 あんず庵

子ども食堂って何だろう...??  
子どもを中心、地域で暮らす人たちに、無料または低額で食事を提供しています!!

どんな人が来ているの??  
子ども、親、おじいちゃん、おばあちゃんが利用できるお店もあれば、子どもに限定している場所もあります!!



1月の予定  
1月28日(日)

要予約制になります。  
詳しくはホームページまで!!!

気をつけることは??  
まず電話やメールで問い合わせてみることがおすすめです。  
行ってみたい食堂が見つかったら、早めにコンタクトを取ってみてくださいね!!!!

〒899-4332 鹿児島県霧島市国分中央4丁目17-15

## 高校生ボランティアの活躍

- 毎月1年生と2年生、5名～10名の参加者
- 子ども食堂あんずカフェのチラシを作製
- お弁当に入っていたら嬉しいメニューの提案
- 貧困や引きこもりなどの社会課題にも関心あり「社会の役に立ちたい」との気持ちも話してくれる

## 地域との繋がり



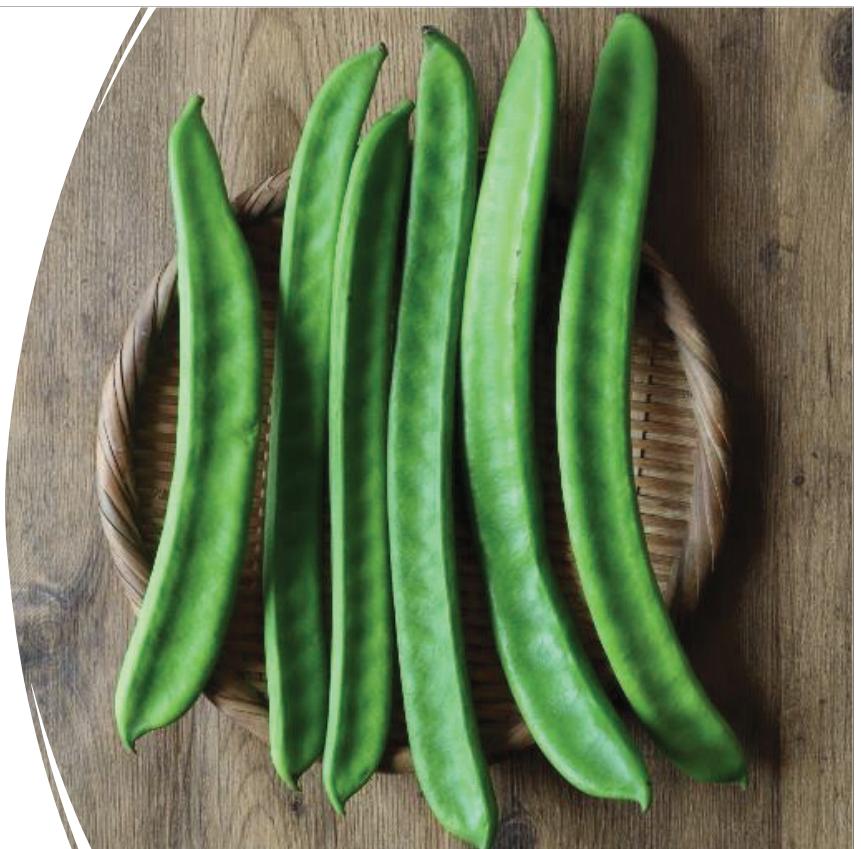
不登校の子どもの居場所「おひさまのおと」で月に1回折り紙認定講師がアイデアと材料を提供、お弁当と一緒に撮った写真を見て「誰かの役に立っている」を実感。

「鹿児島県子ども食堂・地域食堂ネットワークたくして」からの配布食材や地域の農家さんから食材の提供

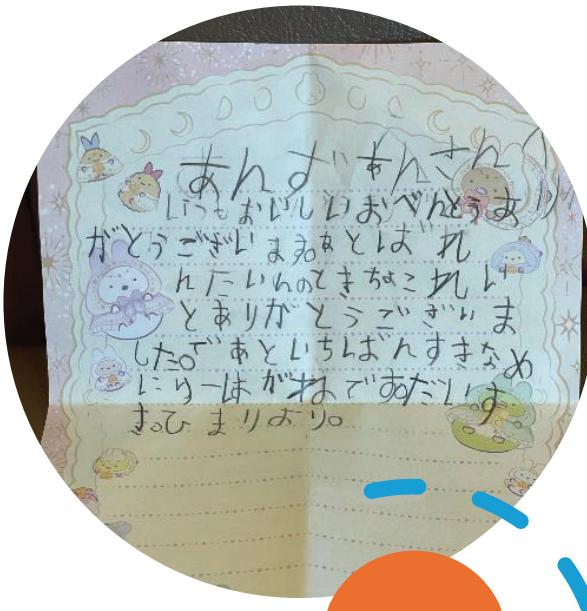


# 利用者様の活躍

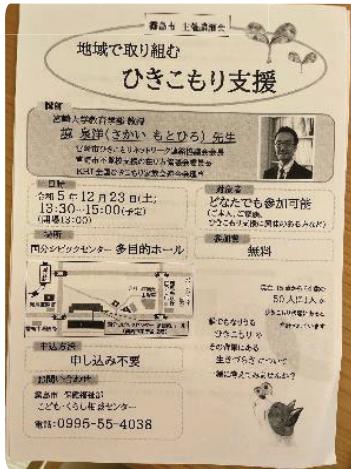
- ・時々名前も分からぬ食材を頂く。
- ・「それはたっばけだね、味噌漬けや胡麻和えにしたら美味しいよ」と食べ方を教えて下さる。



## 子どもさんの反応



- 「娘が引きこもりで家で食事も摂らなくなったりたけどあんずさんのお弁当だけは食べてくれています。学校に行けるようになったら娘と一緒にお弁当作りのボランティアに参加したい。」



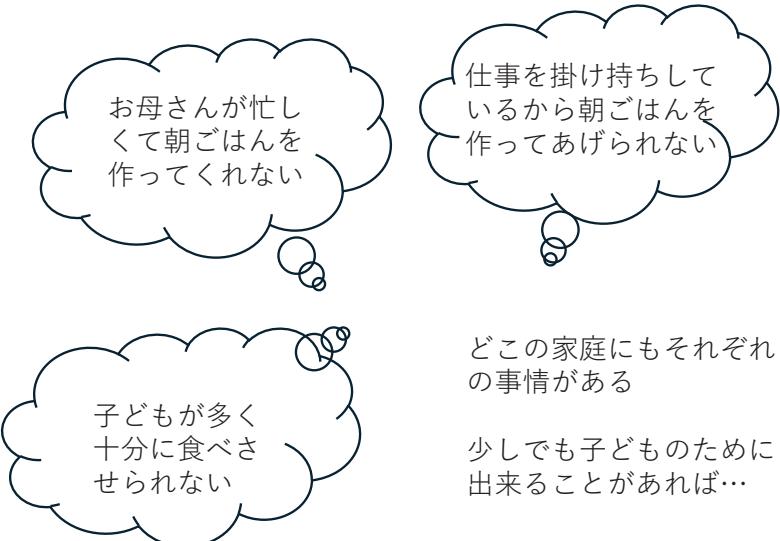
## 子どもさんの反応

- お弁当を取りに来られるたびにお母さんから様子を伺っていた。
- 一時入院
- 不登校の子どもの支援をしている方に相談、講演会に参加
- 4月28日 早朝慌てて起きてきて「お母さん、今日はお弁当の日だよね！」って。当日だったからダメ元で注文の電話しました。
- 4月になって突然、時々学校に行くようになった。

高校生は

- お弁当を作っている最中に起立性の貧血を起こす
- 電車通学で朝ごはんを食べると気持ち悪くなるから朝ごはんは食べて来ない。
- 休み時間に少し食べる。
- 高校生はまだまだ体つくりの大切な時期だが、お小遣いを自由に使えるようになり食生活が乱れてくる時期でもある。  
(栄養士)

## 今年度の新たな取組み 「食コミ」 ~みんなで楽しく食べる~



ご清聴ありがとうございました。



今日も元気にいってらっしゃい！

# 地域と共に、ごちゃまぜの居場所を作る

～本人の望む場所で、生ききる支援～



株式会社ライズリング  
代表取締役 渡邊 譲

## 株式会社ライズリングの事業所



地域全体が  
共生の場

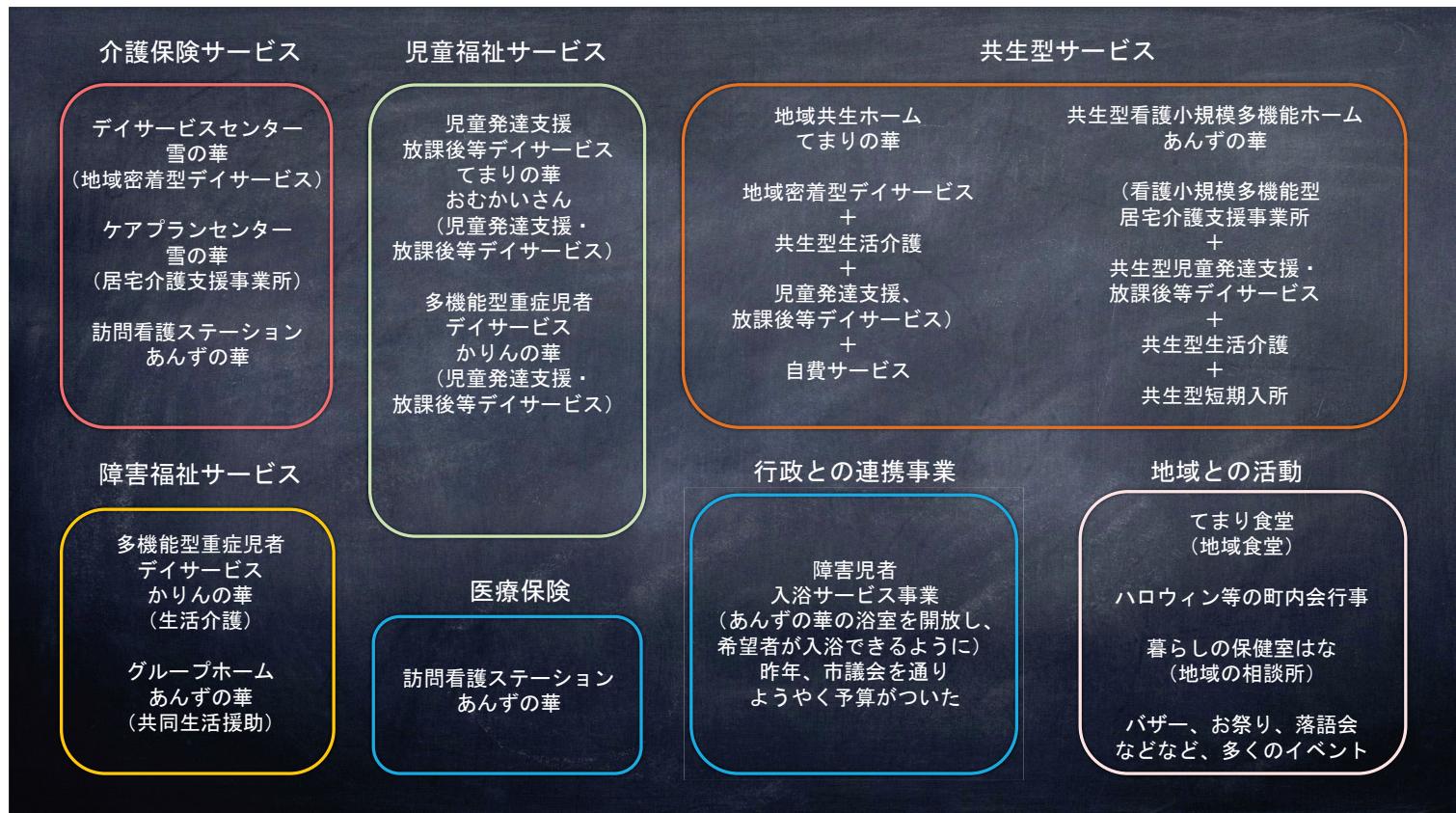
自宅を中心とした  
半径500mの範囲  
に全事業所が集中  
している。

## 現在の活動拠点



- 平成25年6月  
☆デイサービスセンター 雪の華 ~地域密着型デイサービス  
☆ケアプランセンター雪の華 ~居宅介護支援。現在ケアマネジャー5名体制  
~どんな方でも、まるごと対応します~
- 平成28年4月  
☆地域共生ホームてまりの華スタート ~ ごちゃまぜの居場所。誰でも来られ！！  
赤ちゃんから爺ちゃん婆ちゃんまで、まるごと支えます。
- 令和2年2月  
☆訪問看護ステーションあんずの華を、先行スタート
- 令和2年4月  
☆共生型看護小規模多機能ホーム+障害者グループホームあんずの華  
~「地域の誰もが、自宅から、通えて、泊まれて、訪問してもらえる  
医療と福祉の拠点。本人の望む場所で、人生の集大成を！！」  
医療的ケア児・者の対応も可能な共生型看護多機能として。
- 令和3年3月  
☆児童発達支援・放課後等デイ てまりの華おむかいさんスタート。  
てまりの華を卒業した子供たち…社会に出ていくために必要なことを！！
- 令和4年4月  
☆多機能型重心児者デイサービス かりんの華 …地域になければ、創ればよい！  
☆暮らしの保健室 はな ~ ちいき食堂開催時に。  
医療的ケア児だけではなく、18歳になってからも生活介護で支援する体制を確立。

地域の中で、赤ちゃん・医療的ケア児から、重症心身障害児者、認知症高齢者までをフォロー。



# 『その人の生き方を、支える』



## 『人は一人ひとり、違うのが当たり前』

みんな違って、みんないい！！

そんな考えと共に活動をしていくと

地域の人たちからも、色々な声が上がってきました。

地域から、こんな場所が必要だ！という声が。

ライズリングの各事業所は、地域の声から、生まれています。

どんな認知症でも、どんな障害でも、医療的ケアが必要であっても、

決して利用を断らない多世代の居場所作り。

誰もが暮らしやすく、望んだ場所で「生きること」の実現。



ちいき食堂 + くらしの保健室  
 ボランティアしてくれる人たちも次第に増えていく…  
 ごちゃまぜで情報交換したり、交流したり、相手を知る機会でもあります。  
 近隣や札幌市内の大学や専門学校の学生たち  
 子供やいろんな職種の方々も

進路の情報交換や仕事への相談。  
 多職種を見て、将来を決める人もいます！



毎度来てくれる近隣のおばちゃんたち

家庭状況や身体の調子、介護の状況など自分たちのことから、近所のことまで教えてくれる

## 来客たちも多種多様…

- ひとり親家庭5人兄弟 → ネグレクト疑い、民生委員さんと連携
- 障がいのある兄弟 → 相談支援事業所、B型就労と情報交換
- 当法人障害GHIに入所へつながるケース
- 一人暮らしの方達 → 除雪や畠の手伝い、介護サービスの話
- 難病の弟さんを見ている高齢女性 → 介護事業所の紹介
- 週末もご両親が働いて、朝からごはん食べてない子  
→ ごはん提供、おやつプレゼント、包括へ情報提供
- 両親からの虐待により、居場所の無い高校生  
→ 児童相談所との連携により、自立援助ホームへ
- 引きこもりから脱出したいと悩む20代男性  
→ てまりの華でのボランティアから、非常勤職員へ

などなど、まだまだ、たくさんのケースがあります。



## 協賛してくれる人や企業や団体も 次第に増えています



- ・フードバンク札幌
- ・フードドライブ活動しているNPO法人
- ・こども食堂ネットワーク
- ・水産荷主協会
- ・東日本フード
- ・市内酪農企業
- ・おてらおやつクラブ
- ・個人での協賛や寄付
- …などなど

地域から出てきた意見が、色々と！！

- ★ 施設や病院ではなく、愛着のある自宅で死にたい。
  - ★ インシュリンさえ注射できれば、退院して自宅で暮らせるのに…
  - ★ 終末期だが、自宅に帰りたい。
- などなど、たくさんの意見が集まる。

医療的ニーズを必要とする人たちへの対応も出来る拠点が必要。  
ちょっとした医療ケアを行えば、退院して自宅で過ごせる人たちが多くみられます。

更に…

江別市内には、行く場所に困っている医療的ケア児や、重症心身障害を持つ子供や成人も多く、居場所が無いという相談が、親御さん達から多く集まってくるように。

そこから、医療的ニーズを持つ、全ての年齢層に対応する拠点として



共生型看護小規模多機能ホーム、訪問看護ステーションの開設

## 共生型看護小規模多機能ホームあんずの華 開設プロジェクトのメンバー

- ・地域の住民の皆さん
- ・町内会長さん
- ・医療的ケア児者のママさん
- ・介護施設専門の建築士さん
- ・大学の教授
- ・民生委員児童委員
- ・江別市社会福祉協議会

などなど、たくさんの人々に参加してもらい  
何が必要なのかをディスカッションする場を開催。



## 共生型看護小規模多機能ホームの指定

### ★看護小規模多機能型居宅介護★を主とし

- ・訪問看護ステーション
- ・共生型児童発達支援
- ・共生型放課後等デイサービス
  - ・共生型生活介護
  - ・共生型短期入所
- +
- ・共同生活援助(障害グループホーム)を併設

訪問に重点を置き、在宅生活を支援。  
ショートステイは、週末のみ稼働。

令和6年度  
4月～8月は、月500件台  
8月以降は、月600件台  
となっている。

今まで、亡くなった方は、13人。  
あんずの華での看取りは、3人。  
自宅での看取りは、10人。

江別訪問診療所とタッグを組み、  
自宅での生活を、支えている。

要介護度別累計利用回数			令和6年度（訪問）												
通	要介護度	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	非該当	男													
通		女													
		合計													
通	事業対象者	男													
		女													
		合計													
通	要支援1	男													
		女													
		合計													
通	要支援2	男													
		女													
		合計													
通	経過的要介護	男													
		女													
		合計													
通	要介護1	男													104
		女	59	67	52	45	65	65	76	25					454
		合計	59	67	52	45	65	115	130	25					558
通	要介護2	男	37	34	32	43	42	21	32	14					265
		女	230	246	238	286	280	272	265	90					1907
		合計	267	280	270	329	322	303	297	104					2172
通	要介護3	男	54	58	61	59	59	73	23						387
		女	49	52	12	1	17	28	27	12					198
		合計	103	110	73	60	76	101	50	12					585
通	要介護4	男													10
		女													31
		合計													41
通	要介護5	男	77	71	68	75	74	74	71	40					550
		女	44	33	39	28	23	22	32						221
		合計	121	104	107	103	97	96	103	40					771
	総合計(回)	男	168	163	161	177	175	234	184	54					1316
		女	382	398	341	360	385	401	417	127					2811
		合計	550	561	502	537	560	635	601	181					4127

(注1) 該当月末日時点で有効な要介護度より算出しています。

1 / 1

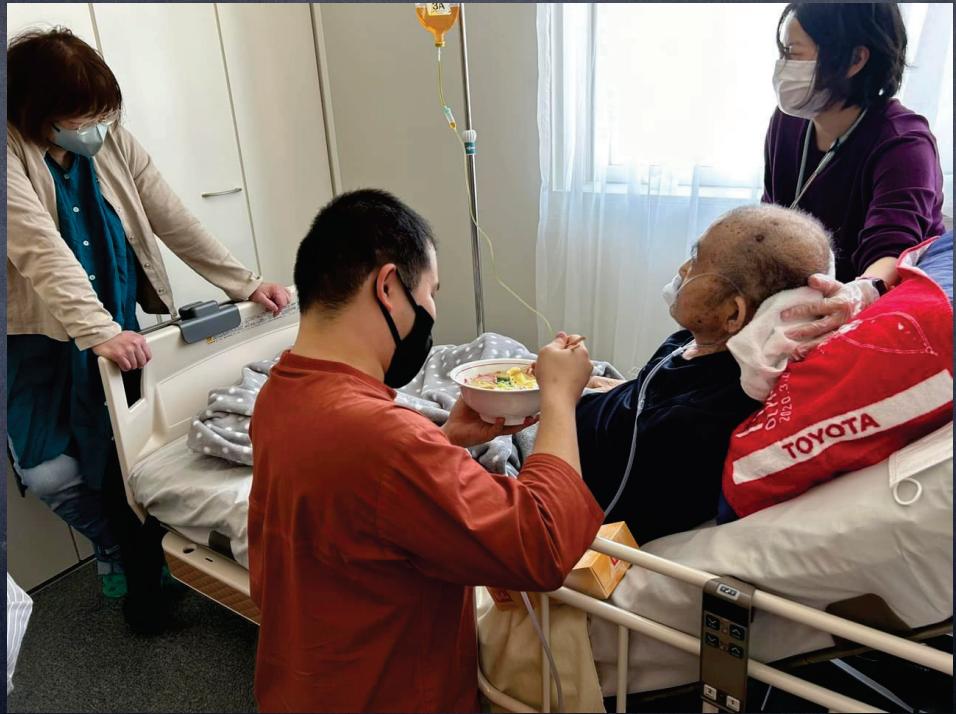
あんずの華で看取る

本当に最後の食事。  
何が食べたいかと聞くと…  
「塩ラーメンが食べたい…」

インスタントではなく、一からスタッフが、塩ラーメンを作りました。

ほんの数口でしたが、大満足。

この二日後、あんずの華で看取りました。



あんずの華で看取る

ずっと一人暮らしだった菊池さん。  
てまりの華を利用して、あんずの華を  
利用してくれていました。

あんずの華で、みんなのいる中で  
息を引き取りました。

出棺も、あんずの華から。  
利用していた仲間も  
お花を捧げることができました。



本人の希望する自宅での看取り。

今年4月に大動脈瘤にて入院。  
前立腺癌の再発、全身への転移が  
見つかる。  
自宅に帰り、自宅で最後を迎える  
という本人の希望を尊重。

江別訪問診療所と共に、在宅での  
生活を支えることになる。  
医師の所見では、8月中旬には、起  
きれなくなるだろうとのことだった…

がしかし！！！  
自宅に帰ると、めきめきと元気に。  
医師も驚く状態となる。

ひ孫や家族と過ごし、食べたいもの  
を食べることが、本当に大切だと全  
員が再認識することに。



自宅で、家族が見守る中息を引き取る。

お風呂が大好きだった方なので、湯灌も訪問入浴のように、自宅にて。

本人が希望する自宅にて、医師の診断を4か月も良い意味で裏切りました。

まさに、「生ききた」  
家族は、「やりきった」

そんな看取りでした。

本人、家族、医師、看護師の連携で、  
乗り切った在宅生活でした。



0歳から、102歳までが参加の餅つき大会！  
もちろん、参加は自由。  
この日は、爺ちゃん婆ちゃんが、主役！！



## ～ これからのステップとして、現在稼働中のプロジェクト ～

- ★ 『脱・施設』を根底に、あくまで当事者の想いを第一に考える居場所作り。
- ★ 『施設』で人を管理するのではなく、皆が自由に動くことが出来る居場所作り。
- ★ 『家に帰ることが出来る』そんな特別養護老人ホームの開設。
- ★ 『農業』『漁業』『林業』と共に、法にとらわれない自由な発想での居場所作り。
- ★ 『 らいすりんぐ村 』と『 農学校 』作りプロジェクトがスタート。  
認知症でも、障害があっても、医療的ケアが必要でも。  
多世代が、お互いに支えあうことができる居場所を作る。  
2024年から、江別市のみではなく、近隣の市町村や、他法人と共に。  
様々な人達が集まり、必要な機能を、その『村』の中に点在させることで  
支えあい、生きていくことのできる住処となるプロジェクトが発進！



14:15～15:30

## 「自治体職員が考えていること」

◆ご登壇

中村 肇 氏（川崎市健康福祉局地域包括ケア推進室 係長）  
住田 篤 氏（福岡市福祉局ユマニチュード推進部認知症支援課 主査）  
山越 孝浩（全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会）

【MEMO】

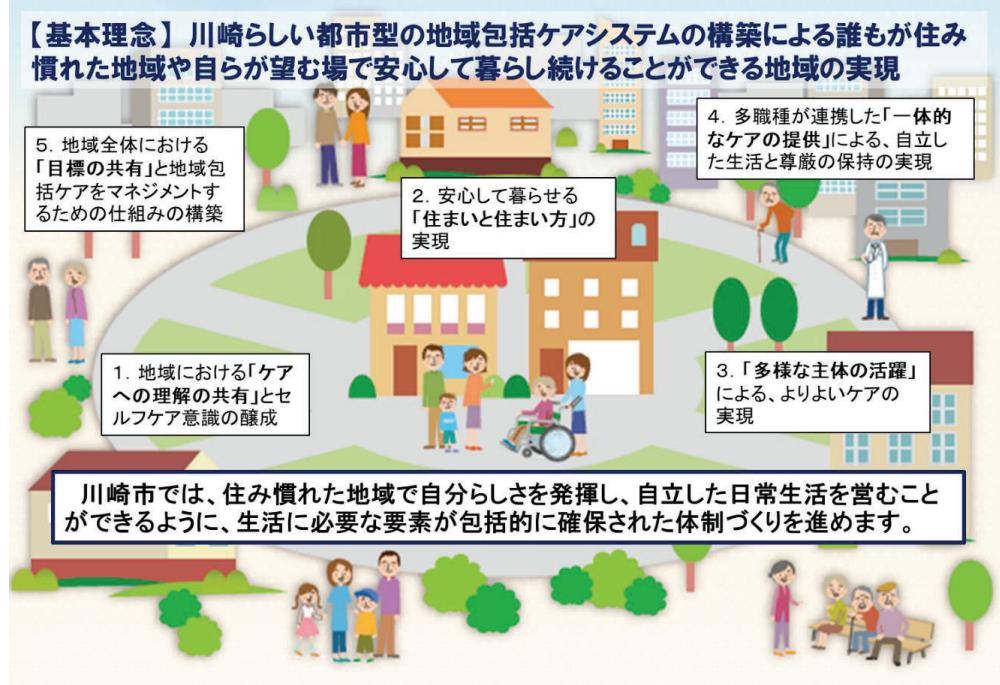
# 川崎市の地域包括ケアシステム構築に向けた取組

川崎市

1

## 川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョン（H27.3策定）

【基本理念】川崎らしい都市型の地域包括ケアシステムの構築による誰もが住み慣れた地域や自らが望む場で安心して暮らし続けることができる地域の実現



2

## 地域包括ケアシステムの構築に向けた取組例（地域マネジメント）



### 『地区カルテ』

川崎市を44の地域に分けて、  
地区ごとに共通した統計情報等を  
掲載しています。



## 地域包括ケアシステムの構築に向けた取組例（多様な主体）



### 『川崎市地域包括ケアシステム連絡協議会』

民間企業等の100を超える参画団体が、  
主体的な取組に向けた意見交換・情報共有を行っています。



## 地域包括ケアシステムの構築に向けた取組例（医療・介護連携）



### 退院した際の地域を病院に例えると…

- ✓ 自宅は病室、道路は廊下です。
- ✓ 病院のように、医師や看護師、歯科医師、薬剤師、ケアマネジャーなどの専門職が道路（廊下）を通って自宅（病室）に伺って治療や処置、相談を行います。
- ✓ 多職種・多機関の連携が整うと、地域でも必要な医療や介護を受けながら、自宅での生活を支えることができます。



## 地域包括ケアシステムの構築に向けた取組例（医療・介護連携）

### 在宅療養推進協議会

医師会、病院協会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会、介護支援専門員連絡会、医療ソーシャルワーカー協会、理学療法士会、地域包括支援センター、川崎市



### 在宅チーム医療を担う地域リーダー研修



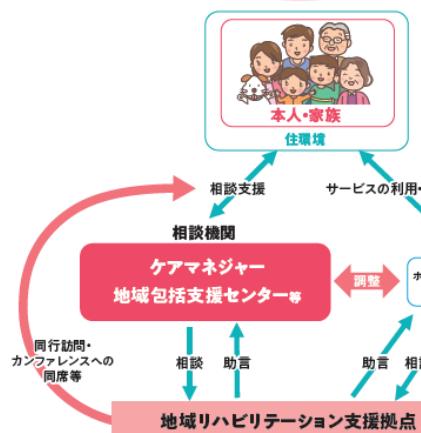
市民シンポジウム

## 地域包括ケアシステムの構築に向けた取組例（地域リハビリテーション）

### 市内11か所の病院・介護老人保健施設に 「地域リハビリテーション支援拠点」を設置

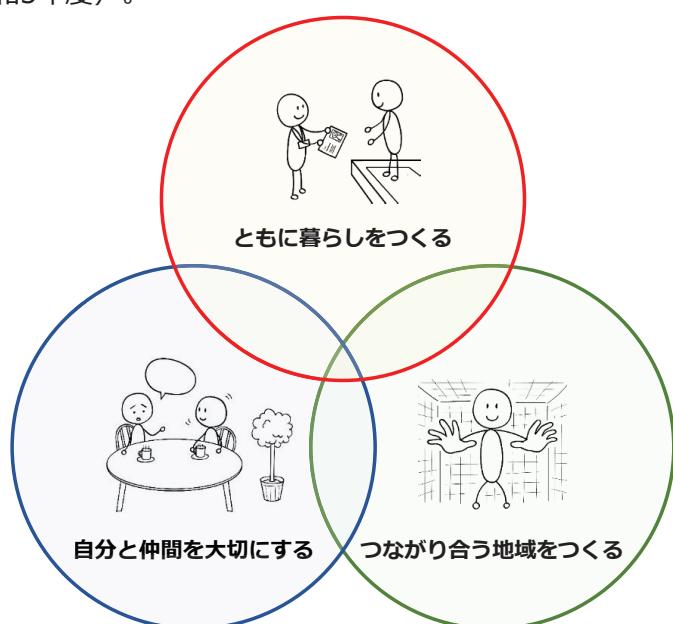
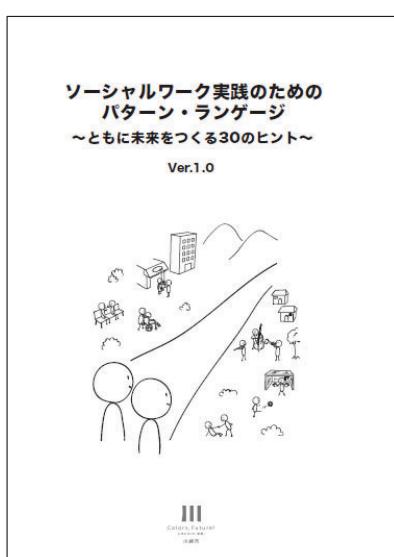
#### 地域リハビリテーション支援拠点とは

地域リハビリテーション支援拠点は、医療や介護サービスの調整が必要な方を対象に、リハビリの視点で医療・介護の両面から、利用者のよりよい生活に向けてケアマネジャー等と一緒に考え、助言・提案等（ケアマネジメント支援）を行います。



## ソーシャルワーク実践のコツ・経験則

「ソーシャルワーク実践のためのパターン・ランゲージ～ともに未来をつくる30のヒント～ Ver.1.0」を発行（令和5年度）。



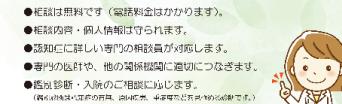
## 地域包括ケアシステムの構築に向けた取組例（認知症対策）



### 軽度認知障害（MCI）スクリーニング検査



認知症疾患医療センターは認知症に関する専門医療相談窓口で、川崎市内に4か所あります。お気軽にお問い合わせください。



- 講話は無料です（会場料金はかかります）。
- 講話内容・個人情報を守られます。
- 講習中に詳しい専門の相談員が対応します。
- 専門の松原や、他の専門医間に適切につなぎます。
- 診断・入院のご相談に応じます。
- （※お問い合わせの際は必ずお名前、年齢などお持ちください）



## 地域包括ケアシステムの構築に向けた取組例（相談体制）



### ●総合リハビリテーション推進センターに

「地域ケアコーディネーター」を配置（令和3年度は2名、令和4年度以降は3名）。



- 区役所・地域包括支援センターの支援困難ケースに対する助言、地域ケア会議への参加支援及び事例検討会の開催支援等を実施（いわゆる「基幹型地域包括支援センター」の機能の一部を担っている）。

①複合的な問題を抱えるケース	②メンタルヘルスが絡むケース	③その他
<b>■特徴</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>8050世帯</li> <li>家族に疾病や障害がある</li> <li>生活困窮世帯</li> <li>養護者支援が必要</li> <li>関係部署・機関と連携協働が必要だが連携が難しい</li> </ul>	<b>■特徴</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>疾病が疑われるが精神科医療につながっていない</li> <li>アルコール・ギャンブル依存</li> <li>夫婦・親子共依存</li> <li>何らかのメンタルヘルス要因により適切なサービスが提供できていない</li> </ul>	<b>■特徴</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>支援関係が構築できない</li> <li>制度の狭間で支援方法・支援者が見つからない</li> </ul>
<b>■具体的な事例</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢の親と障害のある子どもの世帯で、支援につながっていない。</li> <li>独居高齢者で成年後見申し立てが必要と考えられるが、区役所が市長申し立てに消極的</li> <li>複数の専門問題を抱えている世帯だが、区役所の関係部署とうまく連携できず、地域包括支援センターが抱え込んでしまっている。</li> <li>65歳未満の2号被保険者の支援にあたって、どの部署がメインとなって支援するかが定まらない。</li> <li>高齢分野と障害分野の支援のスピードが異なる</li> </ul>	<b>■具体的な事例</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>認知症</li> <li>ケアマネ・包括が精神障害に関する知識が乏しく、苦手意識を持っている</li> <li>集合住宅で近隣住民からクレーム（被害妄想による行動等）</li> <li>高齢者支援係と精神保健係の連携がうまくいかない</li> </ul>	<b>■具体的な事例</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>支援拒否（本人、家族）</li> <li>独居・認知症</li> <li>セルフケア</li> <li>金銭管理できない</li> <li>養護者虐待</li> <li>高齢者夫婦間のDV</li> <li>二世屋敷</li> <li>カスマーハラスメント、支援者の要求過多</li> </ul>
<b>■地域ケアコーディネーターの支援内容</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>世帯全体の状況及びニーズの整理・確認</li> <li>アセスメントを深める支援</li> <li>連携のためのケア会議開催支援</li> <li>必要な専門機関へのつなぎ</li> </ul>	<b>■地域ケアコーディネーターの支援内容</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>仮の見立て及びアプローチのポイントの助言</li> <li>定例の精神保健カンファレンス活用の助言</li> <li>必要な専門機関へのつなぎ</li> </ul>	<b>■地域ケアコーディネーターの支援内容</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメントを深める支援</li> <li>・連携のためのケア会議開催支援</li> <li>・必要な専門機関へのつなぎ</li> </ul>



## 地域包括ケアシステムの構築に向けた取組例（地域づくり・生活支援）

### 生活支援コーディネーター（SC）を小規模多機能型居宅介護事業所に配置

P13・14

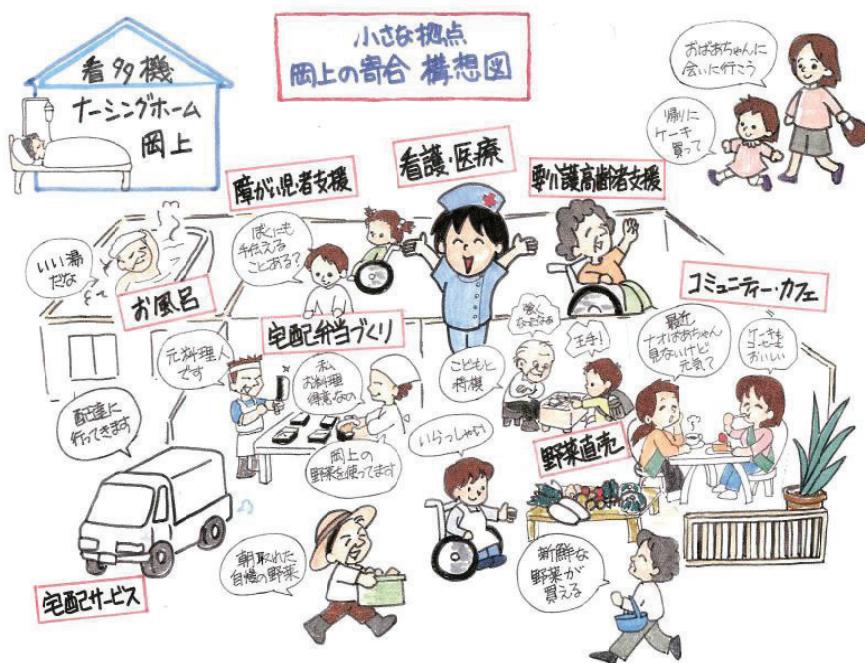


支援につながりにくい方等への  
「個別ケア」と  
「小地域福祉活動」の  
両面から地域へのアプローチを展開



11

### 【参考】地域のニーズを形に



出典：株式会社 リンデン

12

# 福岡市の取組み 「認知症フレンドリーシティ・プロジェクト」

福岡市認知症支援課

2024.12.13

## Agenda

1. 福岡100
2. 認知症フレンドリーシティ・プロジェクト
3. 大切にしていること
4. オレンジパートナーズ
5. オレンジ人材バンク
6. 認知症フレンドリーセンター

# 福岡100

人生100年時代を見据え、誰もが心身ともに健康で自分らしく暮らせる持続可能な社会をつくるプロジェクト

## 福岡100

福岡市は2017年以降、だれも経験したことがない、少子化と高齢化が同時にそして急速に進む未知の課題に対し、行政だけでなく大学や企業など多様なプレーヤーと共に100のアクションを実践する「福岡100」を取り組んできました。

2022年には節目である100のアクションを達成し、次のステージへと歩みを進めていきます。

これからも、性別や年齢、生まれ育った環境や障がいの有無などに関わらず、自分にとっての「幸せ」や自己実現に向けた行動ができる、市民一人ひとり、そしてまち全体の Well-being（幸福）が叶う、持続可能な社会を目指していきます。



社会の支え合いのバランス維持が困難に

挑戦するの？ 福岡がなん



社会環境の変化

高齢者の  
単独世帯  
共働きの  
核家族の増加

年齢・性別・国籍など  
地域で暮らす人々の多様化

社会サービスのニーズが増えて  
多種多様に

## 認知症フレンドリーシティ・プロジェクト: 福岡100の取組みの1つ

これまでの100のアクションって？  
～主な取組み事例～

01 認知症フレンドリーシティ・プロジェクト

認知症とともに、住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らせるまち「認知症フレンドリーシティ」を目指しています。

ユマニチュード®

多くの市民が認知症のこと理解し正しい接し方ができるよう認知症コミュニケーション・ケア技術「ユマニチュード」の講座を地域や企業、児童生徒、家族介護者等対象に行ってています。

認知症の人にもやさしいデザイン

認知症の人がストレスなく安心して生活できる住環境を整備することを目的として、「認知症の人にもやさしいデザインの手引き」を作成し、公共的施設への両デザインの導入を行っています。

福岡オレンジパートナーズ・オレンジ入材バンク

認知症の人と企業が双方で開け持ち、商品開発などをを行うことで、共に暮らせる共生社会を構築し、認知症とともに長く自分らしく活躍することにつなげています。



2018年より実施

## 認知症とともに生きる社会～認知症基本法～

- 私たちが大切にしていること
  - ・保護対象と決めつけない
  - ・当事者から学び、未来に生かす
  - ・認知症多数派社会に備える
  - ・当事者の輝く姿の価値共有



【認知症フレンドリーセンターでの日常】

## 【活躍】オレンジパートナーズ：産学官民オール福岡で構成するコンソーシアム

- 認知症の人とその家族、企業・団体、医療・介護・福祉事業者、行政で構成
- 認知症について自主的に「知る」「考える」「つながる」「行動する」
- 2021年6月に設立し、2024年3月時点で、110団体が登録



「知る」



認知症に関する勉強会(講演会やセミナーなど)

「考える」



企業と認知症の人とのテーマ別体験型ワークショップ(買物、料理、外出など)

「つながる」



企業と認知症の人とのミーティング、企  
業間ネットワーク構築の機会

「行動する」



商品やサービス開発など企業にも恩恵のある形で認知症当事者  
の活躍する場を創出

## 事例. ガスコンロ

- リンナイの既存モデル(SAFULL)に認知症デザインを導入
- 認知症当事者は、認知症経験専門家として開発に関与(試作品を認知症当事者に実際に触ってもらい、合計4回にわたる観察とインタビューで使いやすさを検証・改善)

既存モデル

SAFULL



Udea



認知症デザイン導入モデル



3つの  
主な特徴

- ①間違え防止のカラーリング  
カラーリング



視覚的な分かりやすさで間違え防止

- ②安心して鍋がおけるゴトク



大型ゴトクで安心して鍋が置ける

ゴトク

- ③聞き取りやすい音声案内



音声案内

聞き取りやすい音声が調理をサポート

## 【活躍】オレンジ人材バンク

- 認知症の人が登録できる人材バンク ~当事者の「活躍したい」「働きたい」を応援~
- 22名(56歳~84歳)の登録 (2024.11現在)

企業、社会に向けて  
□商品、製品の開発協力  
□講演、発信  
□あきらめない姿



モニター協力の様子



<センターの役割>  
コーディネート  
当事者の伴走  
市との調整

センター内で  
□ピアサポート  
□イベント時の受付、スタッフ  
□得意なことの発揮

例:花の手入れ(土の状態、選定の時期・方法、手入れの仕方、職員への指導)



## 認知症当事者の活躍(ハタラク)

### ● オレンジ人材バンク

- ・役割や機会を奪わない ~環境改善~
- ・「あきらめたくない」「やってみたい」と願う当事者の声
- ・日々の暮らしの中での小さな「自己選択」と「自己決定」の折り重ね
- ・当事者のやりたいことを一緒に考える ~手札をたくさん用意する~
- ・ハタラクは手段であり目的ではない



セミナーの準備



ベーカリーでの下ごしらえ

## 可能性は無限大！！ 認知症にやさしい製品・サービスの開発

福岡eスポーツリサーチコンソーシアム(FeRC)

「認知症の方も楽しめるソフトの開発、可能性の模索」



## 街にでる！ともに過ごす！！



- 既存のイベントにのっかる
- 多世代交流・共時性
- 介護の可視化⇒体験する⇒知る、学ぶ
- イベントをやることが目的ではない



11

## 福岡のシンボリックな場所で認知症カフェを開催



- だれもが知ってる場所で認知症カフェ
- 認知症を排除しない
- 当事者が輝ける居場所
- 意識変容



12

## 認知症フレンドリーセンター

フォロー  
してね!!

SNS はじめました！



Instagram  
インスタグラム



FDFC HP  
センターホームページ



Facebook  
フェイスブック

15:45～17:30

## 実践者の葛藤 「いま現場は何を考え、もがいているか」

### ◆パネラー

登壇者 長澤 正憲（社会福祉法人美瑛慈光会：北海道）

松田 宇善（コンフォートライフ合同会社：岩手県）

浅井いづみ（なかもちの家：富山県）

進行 黒岩 尚文（全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会）

【MEMO】

# 今、現場は何を考えもがいでいるか？

## 私の今の素直な気持ち…

北海道美瑛町  
(福)美瑛慈光会 長澤正憲

## 今、何に苦しみもがいでいるか？

何をお話しさるべきか…

今、何に苦しんでいるか？

何がつらい？

何がしたかったのか、したいのか？

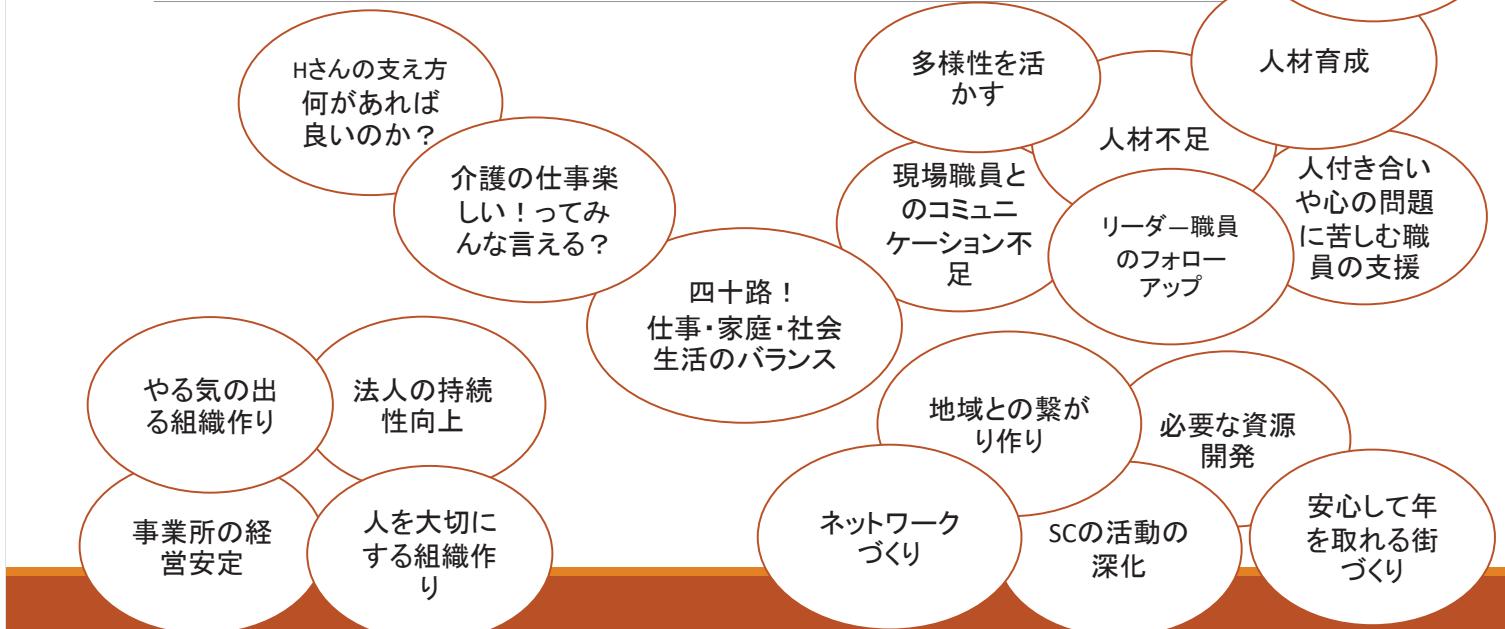
何を目指しているのか？

夢ってなんだろう？

目の前のこと精いっぱい！  
時間がない！

これが素直な困りごと…

# そんなこと言っても仕方ない！ とりあえず書き出してみました



## 今日、考えてみたいこと

事業所の職員、法人の職員はこの仕事楽しい！

って思っているだろうか…？

介護の仕事楽しい！  
ってみんな言えるか？

みんなに聞いたことは無いけど…

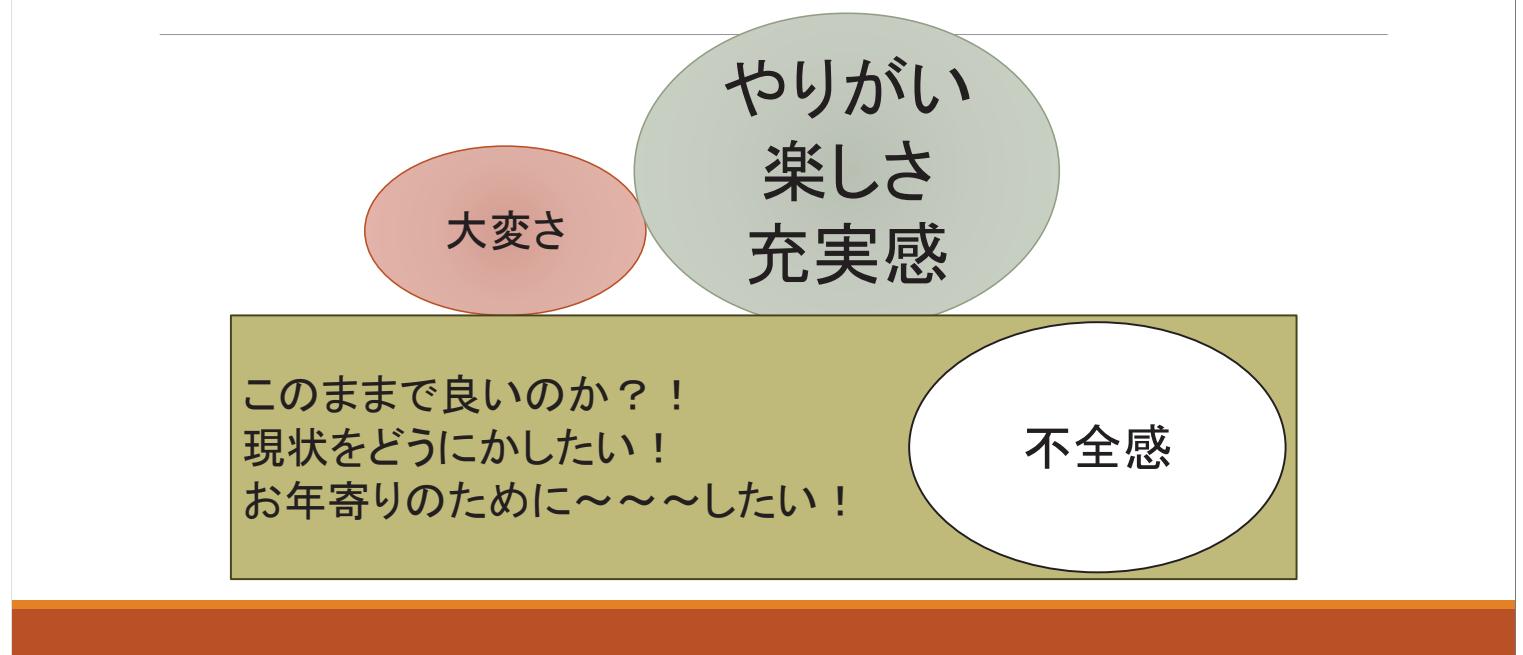
楽しいし、充実感があるという職員の方が多いとは思う。

けど…

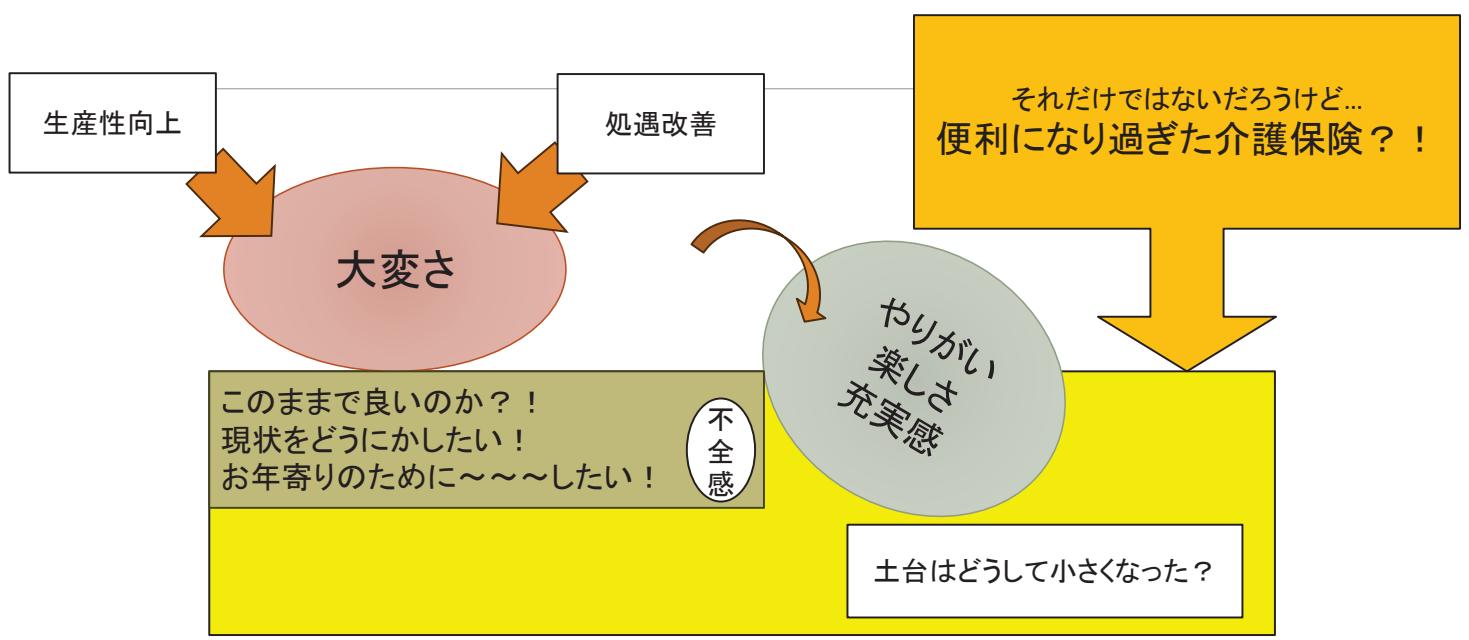
大変だしゆとりが無い。やりたいことが出来ない。

と思っている職員も多いのではないか？ 皆さんはどうですか…？

# 私の考える「やりがい」と「大変さ」



## 今はこんな風になっているのでは？



# どうして土台は小さくなったのか…

ちょっと自分を振り返ってみました

長澤 20歳、介護保険前夜。美瑛の老健に勤める。

老健なのに、60km離れた隣のとなりの町から入所してきたおじいさんに会う。

認知症があつて家では暮らせない。足腰元気。

自立支援だ、リハビリだ、在宅復帰だと言うが…

自分たちの仕事になんの意味があるのだろう？？

在宅復帰なんて出来るわけがない。60kmも離れているのに。

「家に帰る」と歩き回る⇒転ぶ⇒目が離せない…

ますます自分の仕事はなんなのか、分からなくなる。

一緒に雪はね(仕事)でもしたら違うのでは？！

これで良いのか？！

(不全感)

# 認知症を、しっかり支えよう

その人に合わせたケアや環境を！

施設では無く、在宅をしっかり支えなければ！

長澤 23歳 認知症デイに異動する。

少人数で、家庭的な雰囲気と時間の流れ。

柔軟な通い利用。

泊まることもでき、住むことができる。

家族(本人)の希望に合わせて。

# 認知症を、しっかり支えよう

老健で出来なかつたことは出来るようになった。

「これで良い」には確かに近づいた。

けど…

支えきれなかつた人も沢山いた。

あるおじいさん。7人家族。認知症あり。

「ぼけたじいちゃんの面倒を見切れない」という奥さん。

デイを増やしたり、泊まって貰ったりしたけど…

→ 結局は慈光園(特養)に入所することに。

# 認知症を、しっかり支えよう

毎日、特養の職員が一緒に付き添って外を歩いている姿を見る。

これで良かったのか？

何が足りなかつたのか？何をすれば違つたのか？

誰が幸せになれた支援だったのか？

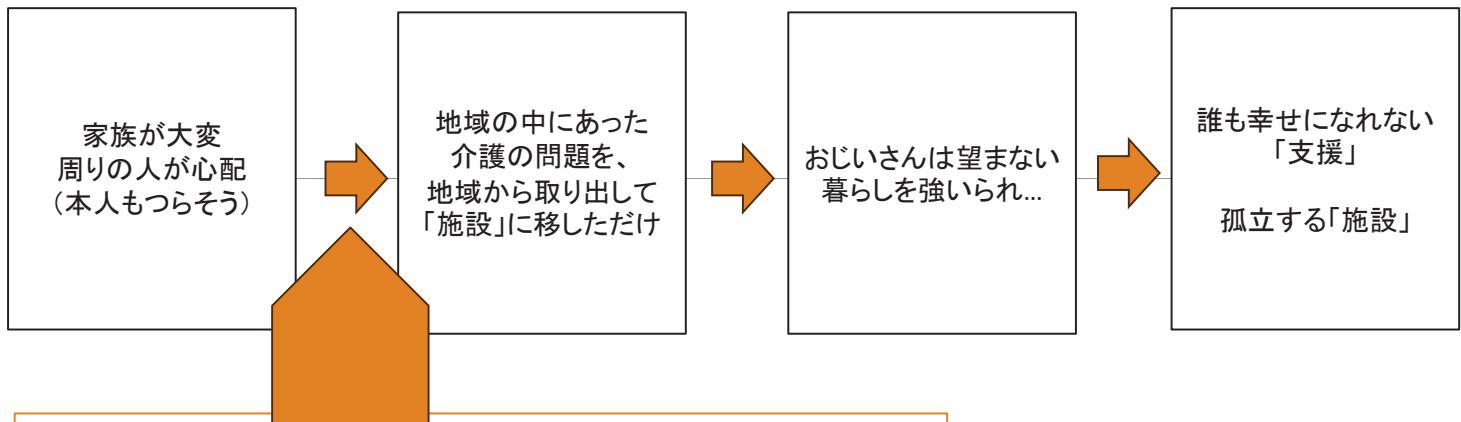
施設になど居たくないおじいさん。

どうにも出来ず、一緒に歩くしかできない特養職員。

そんな姿をみているご家族(と僕)。

長澤 28歳 小規模多機能 に出会う

これで良いのか？！  
(不全感)



これをどうにかする為に生まれたのが小規模多機能？！

- ・望む暮らしの実現
- ・これまでと変わらない暮らし
- ・「したい」を実現
- ・地域の中で

だから

地域の人たちと繋がる必要があるし、  
早くから「会って」その人を知る必要がある。  
通い・泊り・訪問などを使って

## 小規模多機能という道具を使って

今、自分達は目の前のお年寄りをしっかりと支えられているか？

必ずしもそうとは言えない...

通う、泊まる、訪問するで当面の支援は出来ているが

大事にしていることを大事に出来ている？

こだわりにこだわっている？

自分たちだけ一生懸命動いて首回らなくなってる？

人がいないから  
丁寧に出来ない！

それだけが理由？ チームの中でも目標や価値がきっとズレている  
「今が精いっぱい」という枠組みを自分たちの中に作っていないか？

## 結局のところ

老健であれ、認知症デイであれ、小規模多機能であれ、

その枠組みの中でだけ考えていても当面の支援は出来る

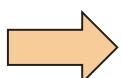


道具の問題では  
無かった！

その人の大事にしていること

こだわっていること

望むこと、望まないこと



自分達の枠組みからどうはみ出て

考えられるか？支えるか？

僕に不全感（原動力）をもたらしてくれたのはお年寄りの姿だった。

これで良いの  
か？！

（不全感）

## 逆に言うと…

小規模だからはみ出しが出来るわけじゃない。

はみ出そうとすれば、老健であれ、認知症デイであれ、小規模多機能であれ、

はみ出すことは出来る。

問題ははみ出でてもやろう！

職員・チーム・組織はどうすれば作れるのだろうか？

その原動力をどうやって感じ取っていくか？

はみ出してやろう！とチームで結託して、

話し合って工夫してやってみて、

お年寄りが「これで良かった」なんて言ってくれようものなら、

大変だけどやって良かった！

きっとそう思える

大変さ

やりがい  
楽しさ  
充実感

もっと～～しなきゃ！  
～～したい！

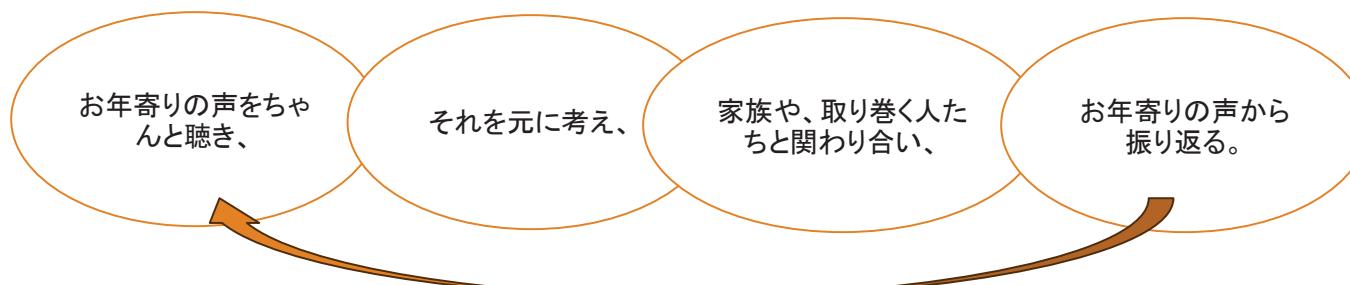
この仕事大変だけど楽しい！

本当の意味での  
人材育成

## 問題は...どうすればそこに辿り着けるか？

- ◆不全感をプレゼントしてくれる出会いがあること？
  - ◆自分たちは頑張っているけれど、実は「枠組み」の中に納まってしまっていることを自覚すること？
    - ◆どうやったら自覚できる？気付いてもらえる？考へてもらえる？
    - ◆「枠組み」の先に有る物に触れ、その価値を体験させられる？

- ◆自分たちはちゃんと頑張っているけど、「枠組み」の中に納まてしまっていることを自覚すること



ちゃんとココが繋がっているか？  
発想は「こちら側」になっていないか？

これで良いのか？！  
(不全感)  
出会えるかも？

# 全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会 全国大会inお台場



コンフォートライフ合同会社 小規模多機能ホーム グループホームやかた  
代表社員 管理者 計画作成担当者 松田 宇善

## 自己紹介

### 松田 宇善(matsuda takayoshi)

1971年生まれ 釜石市出身。東北福祉大学卒業後、岩手県宮古市の特別養護老人ホーム生活指導員、地元釜石市、大槌町の特別養護老人ホーム、居宅介護支援事業所の生活相談員、ケアマネージャーなどを経て、平成22年8月26日コンフォートライフ合同会社を設立、平成23年9月1日からはグループホームやかた 小規模多機能ホームやかた管理者、計画作成者。

#### 【主な経歴】

- ・いわて地域密着型サービス協会 会長
- ・いわて小規模多機能型居宅介護事業所協会 会長
- ・釜石東ロータリークラブ 会長
- ・岩手県高齢者認知症グループホーム協会 副会長
- ・岩手県介護支援専門員協会 前理事
- ・岩手県社会福祉士会 虐待対応専門職委員会 委員
- ・岩手県社会福祉士会 沿岸ブロック 副代表
- ・岩手県釜石保健所運営協議会委員
- ・岩手県立釜石病院運営協議会委員
- ・釜石市包括支援センター運営協議会委員
- ・岩手県社会福祉士会 ぱあとなあ 委員



## 釜石市

- 三陸大津波(M29、S8)、チリ地震津波(S35)、十勝沖地震津波(S43)

- 昭和12年:釜石市誕生
- 昭和20年:艦砲射撃で焦土と化す
- 昭和30年:1市4村合併で現在の釜石市となる
- **昭和38年:人口92,123人**
- 昭和60年:新日鉄ラグビー部V7、第二高炉休止
- 平成元年:第一高炉休止
- 平成19年:釜石市民病院統廃合(閉院)
- **平成23年:東日本大震災**
- **平成27年:明治日本の産業革命遺産群世界遺産登録**





# RUGBY WORLD CUP™

JAPAN 日本 2019



# 釜石市の状況



人口  
29,463人  
R 6/5現在

- |                 |         |
|-----------------|---------|
| 1 第1号保険者        | 12,009人 |
| 2 高齢化率          | 40.8%   |
| 3 要介護認定者数       | 2,607人  |
| 4 介護保険認定率       | 21.7%   |
| 5 地域密着型サービス利用者数 | 112人    |

## 事業をはじめようと思ったきっかけ

山合いの特養で働いていたとき、海の近くに住んでいた方が・・・

毎日海みでいてえなあー

せめて自宅の近くの施設に入所できたら

居宅ケアマネ時代、一人では心配と東京の息子さん夫婦のもとに引っ越しすことになった一人暮らしの方が

おら、いまさらどこさもいきたくね

今まで住み慣れたところで80年、90年住んでいたのにいまさら釜石を離れるなんて

住み慣れた、釜石で今まで通りの生活が継続できるように・

- ・釜石東部地区→当時介護事業所なかった(空洞地区)
- ・第4期釜石市介護保険計画にて応募する
- ・平成22年11月工事着工。平成23年4月1日オープン予定

# 東日本大震災発生。

2011年3月11日に発生した東日本大震災は甚大な被害をもたらしました。岩手県全体での人的被害は、死者4,672人、行方不明者1,151人。家屋被害は全壊・半壊が24,916棟にものぼりました。岩手県南東部の海岸線に位置する釜石市では津波の被害が大きく、防波堤が各所で破壊され、多くの尊い生命と大切

## 東日本大震災による釜石市の被災状況

- 死者－888人（人口の約2.2%）
- 行方不明者－152人
- 負傷者－不明
- 家屋倒壊－3,655棟
- 市内全事業所2,396事業所のうち浸水範囲の事業所数1,382（全体の57.7%）
- 市内3漁協の漁船1,734隻のうち1,692隻が被災（97.6%）

事業所は2011.3.15の引き渡し直前に被災





2011.3.23

## 瓦礫撤去後震災当時の施設の様子





## 当事業所の位置



# 看護小規模多機能型居宅介護

▶事業所名： 看護小規模多機能ホームやかた

▶場所： 釜石市大町（東釜石地区）

▶開設年月日： 平成23年9月1日

※平成23年4月1日開所予定も東日本大震災で被害を受け5か月開設延期となる

※平成30年7月1日宿泊室4床増床

※令和6年小規模多機能から看護小規模多機能へ事業変更

▶登録定員：29名 通い定員：18名 泊まり定員：9名

▶現在の登録者20名（10／31現在）

## 《要介護度別》

介護1	介護2	介護3	介護4	介護5
7名	8名	2名	1名	2名

## 《男女別》

男	女
8名	12名

通い	泊まり	訪問
467回	286回	238回

平均要介護度 1.9

## 介護理念

ほっと一息、ぬくもりのある「やかた」 1・日・十・笑





地域の行事には積極的に出向いて地域の方々となじみの関係づくりを



自宅(施設)にも様々な方々にきていただいてます



# スクールガード(子供見守い隊)





21

## 多職種が一同に会する機会

- ◆釜石市在宅医療連携拠点事業推進協議会
- ◆釜石・大槌地域在宅医療連携体制検討会

多職種連携の第一歩  
顔の見える関係づくり  
連携に関する  
コンセンサス形成の場



コロナ後初の交流行事 スイカ割り、花火…夏の風物詩で世代間交流  
釜石小・大町地区子供会 地域とのつながりづくり



●23



●24

## 地元紙記事より抜粋

釜石小学校（釜石市大渡町）の大町地区子供会（千葉法子地区長、児童21人）は17日、地区内にある高齢者施設で世代間交流会を開き、多世代でスイカ割りや花火遊びを楽しんだ。夏休みの親子レクリエーション行事として実施。児童と保護者ら30人がお年寄りと触れ合いながら思い出を作った。

親子レクは新型コロナウィルス禍で行えずにいたが、感染症法上の位置づけが5類に引き下げられたこともあり、「子どもたちに楽しい夏の思い出を」と数年ぶりに計画した。子どもが大人たちと関わることで地域とのつながりができるることをしようと考え、市地域包括支援センターに相談。同センターが、認知症対応型共同生活介護や小規模多機能型居宅介護事業を行うコンフォートライフ（松田宇善代表社員）に話を持かけた。

地域密着型の運営を目指す同施設では外部との交流行事や利用者主体で小学生の登下校を見守る「スクールガード」などを行っていたが、コロナの影響で中断。5類移行で行動制限は緩和傾向にあるが、高齢者施設での対応は変わらず続いている、今回の交流会も悩んだという。ただ、入居者らが喜ぶ姿に、松田代表（52）は「いろいろ刺激になったようだ。この『家』からどんどん外に出て飲んだり買い物したり自由に過ごしてもらうのが理想。地域に開かれている施設として、できる形でつながりを深めていきたい」と見据えた。

●25

ご清聴ありがとうございました





# 地域から信頼され 愛される なまちの家 になるには

令和6年12月13日  
なまちの家  
浅井 いづみ

なまちの家

1

なまちの家はこんなところにあります…



なまちの家

2

## なまちの家のご利用者様



- ・なまちの家のご利用者様は8割の方が認知症のご利用者様
- ・独居・高齢者世帯のご利用者様が1／3
- ・子ども世帯と同居のご利用者様が2／3  
その内、日中独居が半数

なまちの家

3

## なまちの家と地域の関わり



なまちの家

4



なかまちの会のボランティアの皆様に質問をしてみました

もし、みなさんが認知症になつたら...  
どうしたいですか？

なかまちの家

5

## なかまちの会の皆様の声 ①

施設に入りたい

家族に迷惑をかけたくない

人に迷惑をかけたくない

施設に入ると安心寂しくない



なかまちの会

なかまちの家

6

## なかまちの会の皆様の声 ②

ひ孫の子守が  
大変  
でもかわいい

会に集まるの  
が楽しい



なかまちの会

家族の物音が  
するだけで安心

元気だったら  
家にいたい

なかまちの家



「このまま変わらず、  
自宅で生活できるのが一番いい！」

- ・堂々と胸を張ってずっと自宅で生活したいと言える地域
- ・そんなときに頼りになるなかまちの家

ロゴまたは名前をここに



再確認できたこと  
このまま変わらず

介護される本人も家族も安心して  
自宅で暮らせるような支援

- 地域ニーズの理解
- 認知症の理解
- 家族の理解
- 地域の理解

なかまちの家

9

なかまちの家の職員に質問してみました

私たちが求められている事は何だと思いますか？

なかまちの家

10

## 職員の問題意識の確認

本人の意志を尊重し支援する

住み慣れた家で地域とのつながりを持って暮らせるような支援

柔軟なサービスで在宅生活を支える

今までと変わらない環境で生活ができるように

地域の人が家族のような形になり関わって行けるよう

利用者様と地域や資源をつなぐサポート役

利用者様の応援団



なかまちの家

11

なかまちの家の職員に質問してみました

小規模多機能型居宅介護での介護をしていく上で  
問題や困難になっていることはなんですか？

なかまちの家

12

## 職員の問題意識の確認

本人と家族の  
思いが違う

本人の思いを  
大切にしたいの  
に…

本人の  
気持ちや希望を  
理解したい

職員間の  
意見の相違

地域の方の  
認知症の理解

ニーズが多岐に  
わたり多忙

職員の高齢化



なかまちの家

13

## 地域に求められる 小規模多機能型居宅介護の事業所になるには

- ・今、支援しているご利用者様が、地域で安心して生活ができている事を実施する。

そのためには、

- ・職員教育、人材育成が更に必要になることを改めて実感しました。

なかまちの家

14

17:30～17:50

## 総 括

全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会 宮島 渡

17:30～17:50 総 括

17:50～18:30 地域連絡会の一言メッセージと一般社団法人への移行説明

【MEMO】

**全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会  
「全国大会」 in お台場 資料**

---

2024年12月13日

■発 行 全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会  
〒105-0013 東京都港区浜松町1-19-9 井口ビル3階  
TEL03-6430-7916 FAX03-6430-7918

